## ⑫ 日本国特許庁 (JP)

事特許出願公開

## <sup>13</sup>公開特許公報 (A)

昭59-53787

①Int. Cl.<sup>3</sup> 識別記号 庁内整理番号 D 06 N 5/00 6617-4F E 04 D 5/10 7121-2E C 09 J 7/02 1 0 3 6770-4 J

**4**公開 昭和59年(1984)3月28日

発明の数 1 審査請求 有

(全 3 頁)

**身感圧接着防水シート** 

少特 顧 昭57-162634

**愛出** 顕 昭57(1982)9月17日

心発 明 者 両徳光信

茨木市下徳積1 厂目1番2号日 東電気工業株式会社内

心出 願 人 日東電気工業株式会社

茨木市下港積1丁目1番2号

0代 理 人 弁理士 清水実

**死明の名称** 明 細 歯

1. 光米の名称

総圧疫育防水シート

- 2 特許請求の範囲
  - (1) 未・非加酸のゴムシート、又は感圧接着履 を付する 台級高分子シートなどの感圧接着能 を付するシートの接着面に、エンボス加工を 納した割塊配覆シートを、はエンボスの凸頭 を前記接着面に埋入させて仮着して成ること を特徴とする感圧接着筋水シート。
- 1. 充切の詳細な説明

これら感圧接着防水シートは、シ・イントの水街性、下地に対する密泊性を有し、防水シートとして優れた機能を発揮するのである場合、防水ツートとして優れた機能を発揮するのである場合である場合のである。 下地面の延開時に、下地面といいにはいいののないにはいいののないにはいいった側があった。

このような問題を解決するため、上述のような思題を解決するため、上述のような思性接着所水シートの思性接着面に投ぐ連続する際を多数なけ、この際を介して内包した。 以を排出するようにすることが促発者は、次になっているが、一般に展析のには、次になっているととが多いといった問題があった。

**するものである。** 

11070359- 53787(2)

この免別は、上記した問題に充み、シート展開時に下地面との間に空気が内包されても、これをスムースに提出する際が、長期保育しても、全く消失することのない感圧接着防水シートを提供することを目的としてなされたものであ層を付することを目的と、などの、感圧接着能を行するシートの接着面にエンボス加工を施した例確保護シートを、該エンボスの凸面を前記

以下、このな明を実施例により設明する。

災府面に拟入させて仮府して成ることを特徴と

第1回はとの免明の実施例の要創拡大断面図 である。

この充明の感圧接着筋水シート人は、米、非加酸のコムシート 1 A 又は、感圧接着層を有する高分子シート 1 B などの感圧接着能を有するシート 1 の接着面 2 に、エンポス加工を施した 製盤保護シート 3 を、設エンポスの凸面 3 A を接着面 2 個に対面させ、かつ、この凸面 3 A を

## 4. 四面の簡単な説明。

第1日は、この考案の実施例の断面は、第2日は他の実施例の断面は、第3日は実施例の新版は、第3日は実施例の対象はである。

A…感用接着防水シート、1…感压接着能を 有するシート、1 A… 本,非加蔵のゴムシート 接着面 2 に埋入させて仮府して構成されている。 上記制度保護シート 3 のエンポス加工の状態 としては第1回に示したように制制保護シート 3 の厚さ方向全体にわたり凹凸を設けたものの

ほか、第2国に示したように片面のみに凹凸3 B.3Aを設けたものであっても良い。

また、エンポス加工による凹凸3B、3Aの状態は第3関に示すように、出来るだけシート1の金幅、又は全長にわたって連続したものが到ましく、凶汗のような非難目状に設けられるほか、アトラングム機に設けられる。

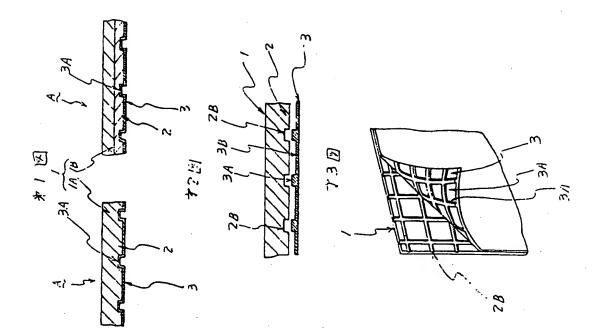
そして、この完別の忠正接着所水シートAは、 製造時において思圧接着面2に前2Bがプレス などにより成形され、予めエンポス加工した制 健保護シート3の凹凸面3B、3Aを簡2Bに嵌 合するように張り合わされるほか、接着面2に 剝離保護シート3を張り合わせ、この状態でプ レス加工することによって接着面2及び剝離保 数シート3の過去に同時に凹凸加工することが 行なわれる。

1 B … 高分子シート、2 … 接着面、3 … 刺線の 纒シート、3 A … 凸面。

代理人 弁理士 沿 木 り



## HUMBS59- 53787(3)



..........